

富士の民話 あれこれ

岩本にある実相寺の山門をくぐると、すぐ左側に妙法堂と呼ばれる小さなお堂があります。今回はこのお堂にまつわるお話を紹介します。

岩本の 妙法天狗



▲実相寺にある妙法天狗を祭った妙法堂

実相寺にある妙法堂は妙心と法心という兄弟の天狗を祭っています。この天狗は妙法二神と言いい、足と手の神様であると言われています。この二神は一時に千里（約四千キロメートル）を走る力を持つていたと伝えられています。そして、足や手の病気に悩む人がこの神様に祈願すると不思議とその病気が治ると言われています。さらに、疱瘡神様とも呼ばれ、天然痘がはやったときには、その治療を祈願したとも言われています。

ほかに、この妙法堂には昔からいくつかの言い伝えが残っています。子供が生まれると、赤飯をすのこに盛って供えます。そして、白紙を赤い梅で染め、その紙をお堂の横にあるさるすべりの木に結ぶと、その赤ちゃんは健康に育つと言われています。また、春の節句には、成人した人が小

さいころに祝ったひな人形を持ち寄って、このお堂に供えて成長を感謝しました。また、昭和五十二年から天狗のご利益にあやかり、子供の健康を祈願して、地域の子供たちを集め、マラソン大会を始めました。このマラソン大会は今でも毎年四月に行われています。

※すのこ・・・竹・アシを編んだむしろ



岩本には昔から天狗にまつわる言い伝えがいくつも残されています。この妙法天狗の話のほかにも万野の天狗岩や立願淵の天狗の話も残っていますよ。

よく天狗というと、すばしっこくいたずらが好きな感じがしますが、天狗は信仰の対象になっていることも多くあります。この妙法天狗もお寺の守り神と言えるのではないのでしょうか。

この妙法天狗の話は小さいころ家の人がら聞きました。私もよく実相寺で遊んだものです。

これからもこのような地域の言い伝えを残し、また、まだよく知られていない民話も掘り起こしていきたいですね。



岩本地域の歴史に詳しい
落合 栄 さん
(岩本)

こちら編集室

岩本山公園の梅が見ごろとなった。毎朝早くから市内はもとより、全国からカメラマンが押し寄せている。富士山をバックに梅を撮るには最高の場所として知られているようだ。「今何分咲き?」「きょうは富士山見えています?」といった問い合わせの電話も多い。また、

インターネットで富士山の見えぐあい確かめてから来るといった人もいたようだ。しかし、ことしはいつになく富士山の雪が少ない。少々降ってもすぐなくなってしまふ。市政カレンダーの2月のような写真は撮れそうもなく、カメラマン泣かせの年となっている。

人口 237,659人 (前月比+1)
男 118,294人 (-6)
女 119,365人 (+7)
世帯 77,979世帯 (+56) 2月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100 ☎51-0123

